



第一二五号 内容

一、日大10連勝

(東京)

——日・立・明水上對抗競技——

いよいよ訪れた水のシーズンのトップを切つて六月十日、神宮プールでは伝統の日・立・明三大学対抗水上競技大会が開かれました。快晴の日曜日ともあつてこの日、水上日本の活躍を期待するファンで一ぱいのスタンドはもはや白一色の夏模様——

競技では中長距離のホープ大野(日)が八百米自由形に破れる番狂わせがありました。世界NO.1の実力を持つ古川(日)、石本(日)は二百米平泳、二百米バタフライに夫々2分36秒6、2分28秒8の大会新記録で他をふり放し、依然としてその健在ぶりをみせました。

この結果各種目に豊富な選手を持つ日大が明大・立大を抑えて優勝、輝く十連勝の快記録を打ち樹てたのです。

一、北斗丸帰る

(舞鶴)

山田乙三元大將ら六十二名を乗せたソ連からの第七次帰国船「北斗丸」は九日朝長い航海を終えて無事舞鶴に入港しました。

今度の帰国者は戦犯の烙印を押されシベリアのラーゲルであらゆる苦難に耐えて来た人や、病氣、老齢のために釈放された人ばかりですが、その内の三十九名が病人という痛々しさ——

棧橋に待ちかまえる出迎えの人達の歓呼を浴びて上陸した人々は、流石に長い間の苦しみと表情も固いその顔を感じ激にふるわせ、肉親の流す温い涙につつまれながら、十数年間夢にまで見て来た懐しの故国の土を踏みしめました。

一、週間話題

◆齒の女王

(名古屋)

愛知県医師会、本社共催に依る三十一年度「齒の女王コンクール」が去る七日、名古屋で開かれました。

やがて晴れの栄冠を得た河口清子(一九)さんを初めとする六名の齒の女王達を乗せたオーブンカーが市内を行進し、夫々自慢の口元からこぼれる齒の美しさを披露しました。

◆一億円のつまみ食い

(東京)

一億円にのぼる農林省の公金が公文書偽造に依つて詐取されたというこの事件は同省の事務官多々高貞信(二六)の自首に依つていよいよ明るみに出されましたが、去る八日、茨城県農共連の経理課長大津茂(四四)の逮捕に依つて問題はますます波及——大きな関心を呼んでいます。

◆生き佛さん

(岐阜)

この話の主人公は岐阜県垂井町に住む三浦常次郎(七八)さん。二十数年前、ふとした病で大事な一人息子を失つてからと云うものはすつかりこの世に望みを失い、もつぱら念仏三昧に明け暮れ、霊柩車や棺桶から位碑までも整えてあると云う風変わりな生活ぶりが話題となっています。

一、火ぶたを切つた参院選挙

(東京・愛知・大阪)

七月八日の参院選挙をひかえて両党では早くから各地に盛んな遊説合戦をくり展げています。

まず一万田蔵相をはじめとする自民党の一行は八日名古屋に乗り込み、国会報告演説会を開けば、これまた社会党では十日大阪府連統一大会に浅沼書記長を送り込んで夫々氣勢を上げてきました。かくして十二日、全国一斉に行われた公示に依つて遂に選挙選の火ぶたは切つて落されまくりました。

当日千代田区議ケ関にある人事院ビルでは、朝早くから押すな押すな盛況ぶり——やがて行各党の選挙対策本部では必勝の意気も高く汗だくの奮戦。これに依るのかの激しさを加えて来りました。候補者の演説にも必死の響がこもり、参院選挙はいよいよその激しさを加えて来りました。